



日立乾燥・除湿機 RD-561LK形 取扱説明書

上手に使って上手に節電

このたび日立乾燥・除湿機をお買い上げいただきまことにありがとうございます。この「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。なおこの「取扱説明書」は保証書・ご相談窓口一覽表とともに大切に保存してください。



目 次	
各部の名称とその働き	1
安全上特にお守りいただきたいこと	2
運転切換スイッチとタイマーの働き	4
このようなことにもご注意を	6
初めてお使いになるときは	8
連続排水のときは	8
部屋の除湿のしかた	9
サーキュレーターとしての使いかた	10
ふとん乾燥のしかた	11
押し入れ乾燥のしかた	12
衣類乾燥のしかた	13
スポット乾燥のしかた	14
くつ乾燥のしかた	14
移動させるときは	15
上手な節電法	15
お手入れについて	16
定期的に点検しましょう	17
長期間お使いにならないときは	17
別売品について	17
サービスを依頼されるときは	18
仕 様	19
保証について	19

お客様メモ

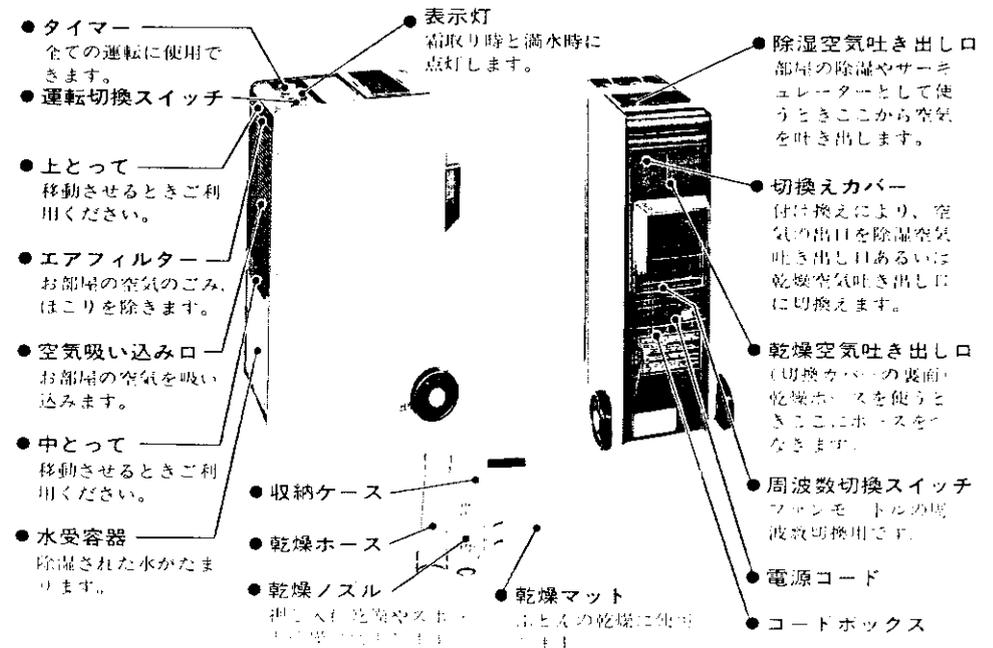
後日のために記入しておいてください。サービスを依頼されるときお役にたちます。

購入店名: _____ 電話 (_____)

ご購入年月日: 昭和 _____ 年 _____ 月 _____ 日

—メモ—

各部の名称とその働き



日立家電販賣株式会社

〒105 東京都港区西新橋2丁目15番12号

電話 (03) 502-2111

株式会社 日立製作所

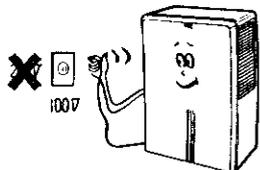
〒105 東京都港区西新橋2丁目15番12号

電話 (03) 502-2111

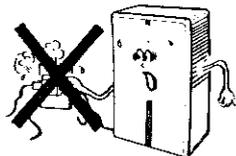
RD-561LK

安全上特にお守りいただきたいこと

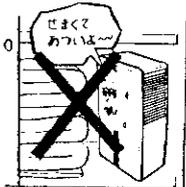
- この除湿機は100V(ボルト)用です。



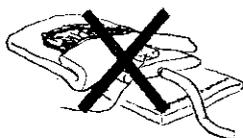
- 分岐ソケットは発熱などの原因になり危険ですから、専用のコンセントを使用してください。



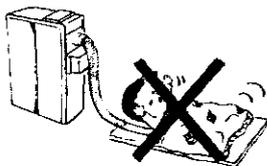
- 押し入れなど極端に狭い場所に除湿機本体を入れて使用しないでください。室温が40℃以上に上昇することがあり、除湿機の運転に無理がかかります。



- ふとんの中に電気毛布、電気アンカ、湯タンポなどを入れたまま乾燥しないでください。故障や火災の原因となります。



- ふとん乾燥中はふとんの中へ絶対に入らないでください。とくに乳幼児や、お子様には、ご注意ください。高温の温風でやけどのおそれがあります。



- 本体にふとんなどをかぶせて運転しないでください。熱変形したり故障の原因となります。

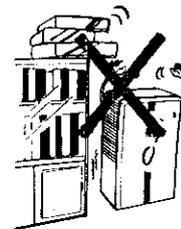


- 空気の吐き出し口や吸い込み口その他のすきまから細い棒などを絶対に入れないでください。感電したり故障の原因になります。



- 次のような方は、低温やけどを起こしたり、また、おもわぬ事故の原因となりますので、乾燥後ふとんをさましてからふとんの中に入るようにしてください。
- 乳幼児やご病人あるいはご老人で、ご自分で意志表示のできない方。
- 手足のご不自由な方。
- 深酒や睡眠薬を使用した方。
- 皮膚感覚の弱っている方、心臓病の方。

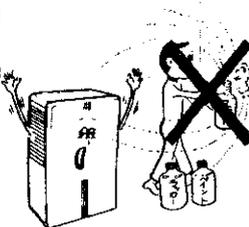
- 除湿機が倒れ、圧縮機が故障したり、除湿水が電気品にかかり、絶縁が悪くなったりしますから、除湿機を倒れ易いものそばに置くことはさけてください。地震のときなど危険です。



- ご旅行等で留守をされる場合や、長期間ご使用にならない場合はタイマーを“切”にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。



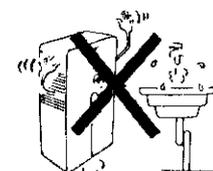
- 可燃性スプレーは引火の危険がありますから運転中の除湿機の近くで使用しないでください。



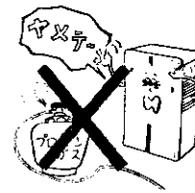
- 除湿機には、空気中のごみ、ほこり、菌が入っていますので、捨てる際は直接下水に捨ててください。



- 除湿機を直接水がかかる場所に置かないでください。水がかかると絶縁が悪くなり危険です。



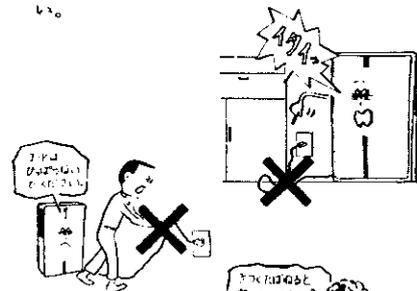
- ガス器具からガスがもれていますと、除湿機の電気接点によって爆発する危険があります。ガス器具の取り扱いにはじゅうぶんにご注意ください。また万一ガスもれがあった場合は、運転中の除湿機にはいっさい手をふれないでください。電源プラグをコンセントから抜いたりしますと、スパーク(火花)によって爆発しやすいのでかえって危険です。



- お手入れのとき電気部品(スイッチなど)に水がかかると絶縁が悪くなり危険ですから電気部品の周囲をふくときは、布をかたく絞ってください。



- 電源コードがいたみますと焼損や漏電のおそれがありますので、取り扱いにご注意ください。



運転切換スイッチとタイマーの働き

連続

連続的に運転したいときは、この位置にします。
水受容器が満水になって自動停止するまで、運転します。

切

運転を止めるときは、この位置にします。

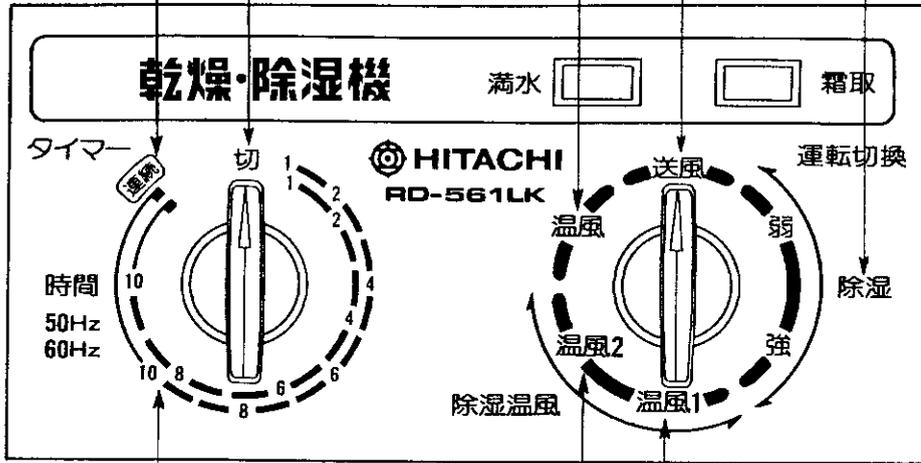
温風——☆乾燥ホースを使用

●働き

半導体ヒーターにより暖められた空気を乾燥空気吐き出し口より吹き出します。

●用途

主にスポット乾燥に使用します。



お望みの時間に合わせてください。
全ての運転に使用できます。
例えば「4」に合わせれば4時間後に運転を停止します。
もし、1時間以内にセットするときは、いったん2時間以上にまわしてからもどしてください。

目安

お部屋の除湿	5～10時間
ふとんの乾燥	1～3時間
押し入れの乾燥	3～6時間
おむつの乾燥	1～3時間
長ぐつの乾燥	1～2時間

除湿温風1——☆乾燥ホースを使用

●働き

除湿した空気を半導体ヒーターにより暖め、除湿温風として、乾燥空気吐き出し口より吹き出します。
タイマーは圧縮機、半導体ヒーター、送風機を同時に切り、ふとん等を暖かく仕上げます。

●用途

主にふとん乾燥、衣類乾燥、くつ乾燥、スポット乾燥に使用します。
温風仕上げなので冬のふとん乾燥に最適です。

除湿温風2——☆乾燥ホースを使用

●働き

除湿温風1と同じですが、タイマーが自動的に切れる前の25分間を送風運転に変えますので、ふとん等を室温状態で仕上げます。

●用途

除湿温風1と同じ。送風仕上げなので夏のふとん乾燥に最適です。

送風——☆乾燥ホースを使用しないとき。

●働き

室内の空気のごみやほこりを除き、除湿空気吐き出し口より吹き出します。

☆乾燥ホースを使用したとき。

●働き

室内の空気のごみやほこりを除き、乾燥空気吐き出し口より吹き出します。

●用途

サーキュレーターとして使用できます。

●用途

主に革ぐつの乾燥に使用します。

除湿——☆乾燥ホースを使用しないとき。

●働き

除湿した空気を除湿空気吐き出し口から吹き出します。運転音が気になるときは、「弱」にしてください。

●用途

部屋の除湿に使用します。除湿音が気になるときは、「弱」にしてください。

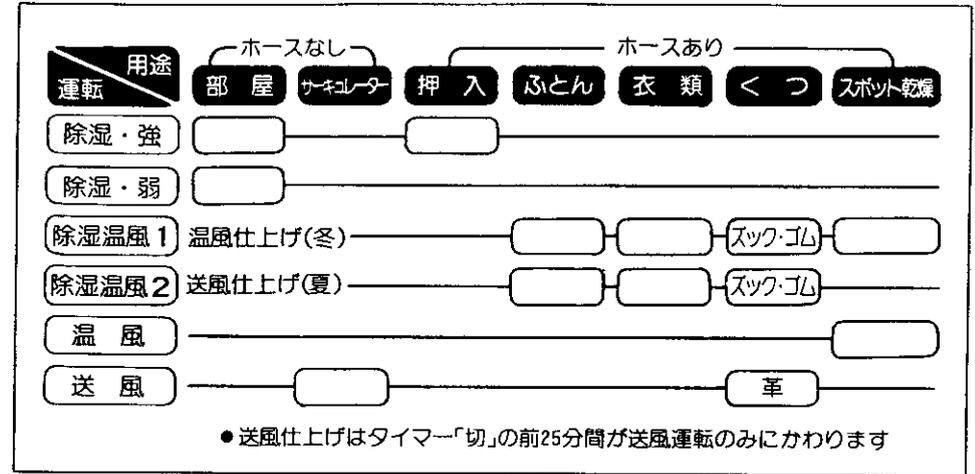
☆乾燥ホースを使用したとき。

●働き

除湿した空気を乾燥空気吐き出し口から吹き出します。

●用途

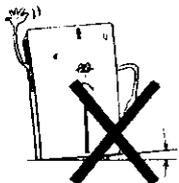
主に押し入れの乾燥に使用します。



運転切換スイッチは、ご使用目的に応じて印で示す位置に切換えて運転してください。効果的な使い方ができます。ただし、使用条件によっては、他の位置が適していることもあります。

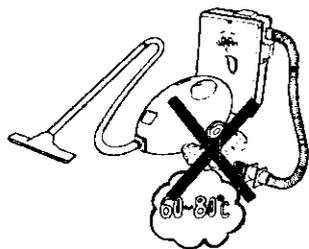
このようなことにもご注意を

- 設置する場所は、じょうぶで水平なところに設置してください。
床が弱いと振動や騒音の原因になりますし、床が傾斜していると除湿水がこぼれることがあります。



- 運転可能な部屋の温度にご注意ください。
部屋の除湿は1℃～40℃です。また除湿温風運転のふとん乾燥は1℃～30℃、除湿運転の押し入れの乾燥は1℃～35℃です。
氷点下になると冷却器につく霜を完全に除霜できなくなり、また除湿した水が凍ります。また上限温度を越えると除湿機が過熱し、無理な運転となり故障の原因になります。
詳しくは、それぞれの運転のしかたの項をごらんください。

- 除湿温風や温風乾燥時は、乾燥ホースより約60～80℃の空気が吹き出されます。
乾燥空気を除湿機本体や熱に弱いものには当てないでください。変形する恐れがあります。



- 乾燥ホース使用時に、乾燥ホースと電源コードを接触させないようにご注意ください。
乾燥ホースの温度が高いため、電源コードが傷みます。

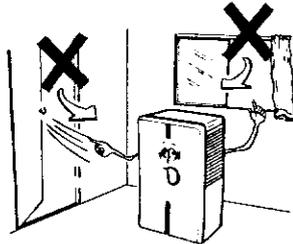
- 除湿運転や除湿温風運転時、部屋の温度が約18℃以下になると、およそ2時間に1回「霜取ランプ」がついてモーターが止ります。これは冷却器についた霜をとるためです。



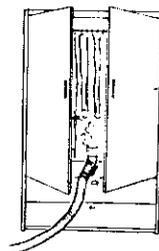
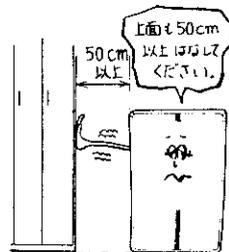
- 除湿運転や除湿温風運転時、ひん繁なスイッチの操作はさけてください。スイッチをいったん切ったらつぎにスイッチを入れるまで3分以上間をおいてください。すぐ入れますと、ヒューズやブレーカーが、切れることがあります。



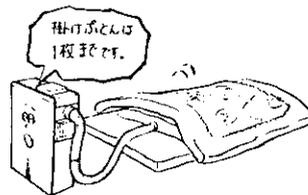
- 除湿運転や除湿温風運転による部屋の除湿や押し入れの乾燥などの際には、お部屋の窓、扉などを閉め、外気が流れ込まないようにしてからご使用いただくと効果的です。
外気が多量に室内に流れ込むと、部屋の湿度が下りません。



- 空気吸い込み口・空気吐き出し口の前方にはじゅうぶんな空間を確保してください。
空気吸い込み口や除湿運転時の除湿空気吐き出し口の前方は約50cm開けてください。
乾燥ホースや乾燥ノズル使用時には、その吐き出し口先端にはじゅうぶんな空間をとってください。とくに押し入れや洋服ダンス等を乾燥させるとき、ご注意ください。
空気吸い込み口や吐き出し口をふさぐと、過熱し、除湿機に無理な運転となり、圧縮機や半導体ヒーターが運転、停止を繰り返したりして故障の原因になります。



- 乾燥マットの上にかけるふとんは、必ず掛ふとん1枚としてください。
何枚も重ねますと、乾燥空気が吐き出されず、除湿機に無理な運転となって、過熱し、除湿機が故障する原因になります。



- 水受容器は、排水のためはずすとき以外は、常に除湿機に入れておいてください。
運転を停止しているときでも、冷却器に残っていた露や霜が滴下して水受容器にたまる場合があります。

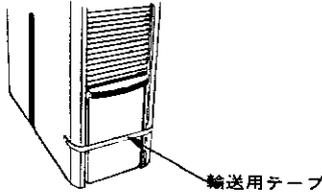


- 除湿温風運転時や温風運転時に、部屋の温度が約30℃以上になると、吐き出し空気温度が高くなったり、低くなったりすることがあります。これは半導体ヒーターのサーモスタットが作動しているため、異常ではありません。

- 貴重な美術品や学術資料、その他重要な機器の保管等にご使用になる場合は、ご希望の湿度に、部屋が維持できるかどうかよくお確かめください。
部屋の広さや構造、除湿機の設置台数にもよりますが、低湿度になると除湿量が少なくなりますので、とくに湿度を40～50%以下に維持することを必要とされる場合には適しません。
万一の事故に備え、ご希望の湿度に対し、異常を知らせる等の警報器の設置も行ってください。また排水ホース（8ページの「連続排水のときは」の項を参照してください。）がはずれたり、水受容器から水があふれても、保管物に被害がおよばないようにご注意ください。

初めてお使いになるときは

1 輸送用テープをはずしてください



- 水受容器を正しく入れなおしてください。輸送中の強い振動等により、補助スイッチが作動し満水ランプがつくことがあります。そのときは、正しく入れなおしてください。(水受容器の正しい入れ方については9ページの「部屋の除湿のしかた」の項を参照してください。)

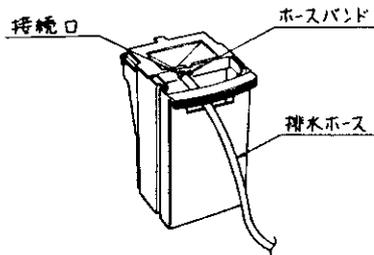
2 周波数切換スイッチをお確かめください

- コードボックスの上部に“周波数切換スイッチ”があります。“周波数切換スイッチ”は50Hz(ヘルツ)にセットしてありますが、60Hz(ヘルツ)地区でご使用になるときは60Hz(ヘルツ)側を押して切換えてください。



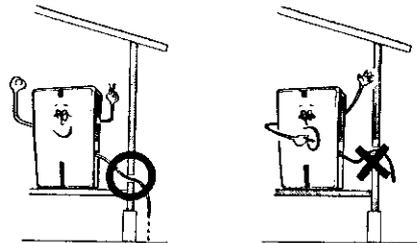
連続排水のときは

- そばに水を流せるような場所がある場合は水受容器の排水ホース接続口に、市販の内径16mmの排水ホースあるいは別売りのサービス専用部品の排水ホース(17ページの「別売品について」の項を参照してください)を接続し、水受容器を除湿機内に納め排水してください。



- 排水ホースによって、ふたが持ち上がり、満水ランプがつき運転しないことがあります。このときはふたの動きをテープ等で押えてください。

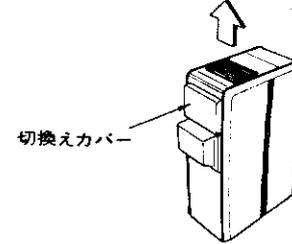
- 排水ホースの先端を水中に入れたり、ホースの途中で高低差をつけたりしないでください。また排水ホースの設置場所が氷点下にならないようにしてください。排水できなくて、水があふれる恐れがあります。



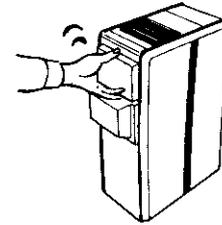
部屋の除湿のしかた

1 切換えカバーを側面の乾燥空気吐き出し口に取り付けます

- 除湿した空気は上面の除湿空気吐き出し口より吹き出しますから、切換えカバーを側面の乾燥空気吐き出し口に取り付けてください。

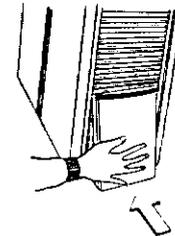


- はずすときは“つめ”があるところをつぼめてははずしてください。



2 水受容器を正しく入れます

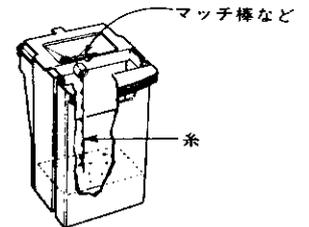
- 水受容器を静かに入れ、下部を押して水受容器が後へ当たるまで押し込みます。



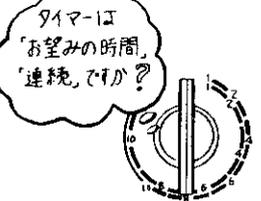
3 運転切換スイッチを除湿の“強”あるいは“弱”にします

- 1℃~40℃のお部屋でお使いください。室温の下限は自動霜取り装置により除霜するので1℃です。氷点下になると、冷却器についた霜を完全に除霜できなくなり、また除湿した水が凍り、排水できなくなりますので、1℃以上のお部屋でお使いください。室温の上限は40℃です。40℃以上の高温になると除湿機の運転に無理がかかり、故障のもとになります。
- 就寝時など運転音が気になるときは、「弱」にしてください。除湿量は若干少なくなりますが、低い運転音になります。なお「弱」は室温が35℃以上になると、除湿機に無理な運転となりますので、35℃以下でお使いください。

- 水受容器に満する音が気になるときは、マッチ棒等に長さ約30cmの糸を結び、排水孔より下にたらししてください。満下音が小さくなります。

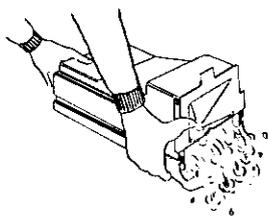


4 タイマーを“お望みの時間”あるいは、“連続”に合わせます



5 水受容器の水をすてます

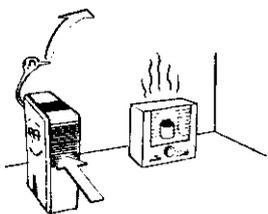
- 除湿された水は、排水ホースを接続して、連続排水させる場合を除き、水受容器にたまりまます。水受容器に一定量以上たまると、あふれないよう滴水ランプがつき、自動停止しますが、1日に1回は、持ち上げるようにして引き出し、水を捨ててください。



サーキュレーターとしての使いかた

1 本体をストーブの横に置いてください

- 床面の温度の低い空気を吸い込んで、上方に吹き出し、天井付近のあたたまった空気を循環させ、室内温度のむらを小さくする方式ですから、本体をストーブと1m程度離して同じ壁面に置いてください。



- キャビネットはプラスチック製です。ストーブの横に置くとき、ふく射熱等による熱変形がないようご注意ください。

2 切換えカバーを側面の乾燥空気吐き出し口に取り付けます

- 詳しくは、9ページの「部屋の除湿のしかた」の項をごらんください。

3 水受容器を正しく入れます

- 詳しくは、9ページの「部屋の除湿のしかた」の項をごらんください。

4 運転切換スイッチを“送風”にします

- 1℃～40℃の部屋でお使いください。

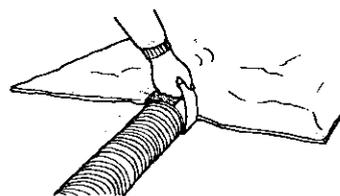
5 室温が5℃以下の場合約2時間に1回霧取りランプがつくとともに、モーターが停止することがありますが、異常ではありません。

5 タイマーを“お望みの時間”あるいは“連続”に合わせます

ふとん乾燥のしかた

1 敷きふとんの上に「乾燥マット」を敷き「乾燥ホース」を接続します

- 乾燥マットと乾燥ホースの接続は、締め付けテープでしっかりと固定してください。



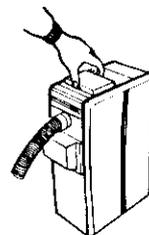
- 乾燥マットのファスナーを閉じてください。ファスナーは乾燥ホース接続口の反対側にあります。
- 乾燥マットのホックを固定してください。

2 切換えカバーを上面の除湿空気吐き出し口に取り付けます

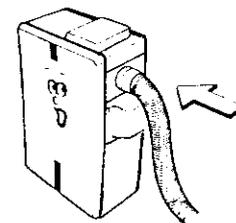
- 乾燥空気は側面の乾燥空気吐き出し口より吹き出しますから、切換えカバーを上面の除湿空気吐き出し口に取り付けてください。忘れますと乾燥マットがふくらみません。



- はずすときは“つめ”があるところをつぼめてはずしてください。



3 乾燥ホースを側面の乾燥空気吐き出し口に差し込みます



- 乾燥マットの接続口がねじれないようご注意ください。

4 水受容器を正しく入れます

- 詳しくは、9ページの「部屋の除湿のしかた」の項をごらんください。

5 掛けふとんを「乾燥マット」の上にかけます

- 乾燥マットをふとんといっしょに折りたたんで使わないでください。過熱し、故障の原因になります。
- 羽根ふとんなど特殊なふとんは乾燥しないでください。

6 運転切換スイッチを選びます

- 12ページの表により、“つまみ”の位置を決めてください。

7 タイマーをお望みの時間に合わせます

- 除湿温風時の目安は1～3時間です。冬やふとんの湿り具合によっては長めに、夏は短めに合わせてください。

運転切換スイッチ	特 徴	運転可能な室温
除 湿 温 風 1 除 湿 温 風 2	<ul style="list-style-type: none"> ●ふとんから出る湿気を除湿しながら、半導体ヒーターで加熱した除湿温風空気で乾燥させます。除湿運転や温風運転に比べ乾燥時間も短縮できます。 ●タイマーをお望みの時間に合わせた場合温風1はふとんを暖かく仕上げるので冬に適しています。温風2はふとんを室温の状態です上げるので、夏に適しています 	1℃～30℃の部屋でお使 いください。 30℃以上で使うと機械に 無理がかかり故障の原因 になります。
除 湿 ・ 強	<ul style="list-style-type: none"> ●ふとんから出る湿気を除湿しながら、除湿空気で乾燥させます。 ●除湿温風運転に比べ、乾燥時間は長くなりますが、部屋の温度上昇が余りないので夏の乾燥に適しています。 	
温 風	<ul style="list-style-type: none"> ●半導体ヒーターによる温風で乾燥させます。 	1℃～35℃の部屋でお使 いください。 35℃以上で使うと機械に 無理がかかり故障の原因 になります。
送 風	<ul style="list-style-type: none"> ●ふとんを室温の状態です上げたいときお使いください。 	1℃～40℃の部屋でお使 いください。

●乾燥中はふとんの上にすわったり、物をのせたりしないでください。また乾燥ホースの上に物をのせてホースをつぶしたり、乾燥マットを折りたたんだり、ねじった状態で使わないでください。過熱し、故障の原因になります。

押し入れ乾燥のしかた

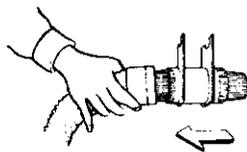
1 切換えカバーを上面の除湿空気吐き出し口に取り付けます

●詳しくは11ページの「ふとん乾燥のしかた」の項をごらんください。

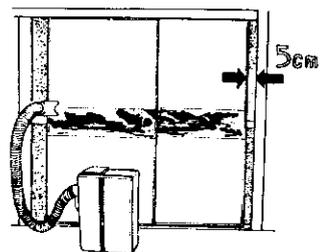
2 乾燥ホースを側面の乾燥空気吐き出し口に差し込みます

●詳しくは11ページの「ふとん乾燥のしかた」の項をごらんください。

3 乾燥ノズルを乾燥ホースの先端に押し込み接続します



4 乾燥ノズルをふすまにはさみ、ふすまを閉めます



●乾燥ノズル先端の空気吐き出し口をふとん等によりふさがないようにご注意ください。過熱し故障の原因になります。

●空気の循環がよいよう、出来るだけ空間をとってください。特に乾燥ノズルの前には空間をとってください。

5 乾燥ノズルと反対側のふすまを約5cm開けてください

6 水受容器を正しく入れます

●詳しくは、9ページの「部屋の除湿のしかた」の項をごらんください。

7 運転切換スイッチを選びます

下の表により「つまみ」の位置を決めてください。

8 タイマーをお望みの時間に合わせます

●乾燥時間の目安は約3～6時間です。湿り具合によって合わせてください。

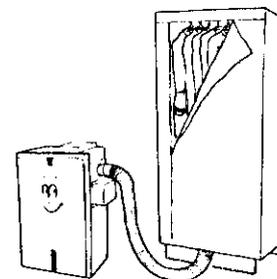
運転切換スイッチ	特 徴	運転可能な室温
除 湿 ・ 強	●押し入れ乾燥を効率よく行います。	1℃～35℃の部屋でお使 いください。
除 湿 温 風 1	●押し入れ内の温度が上ります。冬期にお使いください。なお吐き出し空気温度が約60～80℃と高いので、吐き出し空気に直接触れるところの耐熱温度にご注意ください。	35℃以上で使うと機械に 無理がかかり故障の もとになります。
送 風	●部屋の湿度が低いときにお使いください。	1℃～40℃の部屋でお使 いください。

衣類乾燥のしかた

●洗たく物を室内につるし「除湿・強」運転をする
と乾燥できますが別売りの衣類乾燥用ケース「H
E F-7」（17ページの「別売品について」の項
を参照してください。）をご使用になると、より効
果的に乾燥できます。

●衣類乾燥用ケースは、「ふとん乾燥」や「押し入れ
乾燥」と同じように、本体に乾燥ホースを差し込
み、その先端を衣類乾燥用ケースに接続すること
により使用できます。

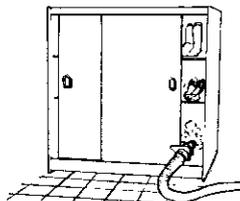
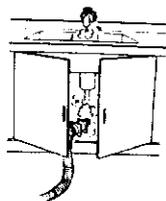
●衣類乾燥用ケース使用時の運転切換スイッチの選
び方は「ふとん乾燥のしかた」の項と同じで12ペ
ージの表をごらんください。なお運転可能な室温
は1℃～35℃です。



●洗たく物を室内につるし「除湿・強」運転をす
るとき洗たく物の水滴が、除湿機の操作パネル
や除湿空気吐き出し口に滴下しないよう、ご注
意ください。

スポット乾燥のしかた

- 部屋の隅や、台所の流し台の中、げた箱など、湿気の多い所の乾燥には、押し入れ乾燥と同様に乾燥ノズルを使って乾燥させてください。

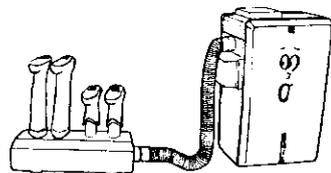


- 運転切換スイッチの選び方は次の通りです。

運転切換スイッチ	特 徴	運転可能な室温
除 湿 ・ 強	●除湿した空気で乾燥させます。台所の流し台の中、げた箱、洋服ダンスなどの乾燥に適しています。	1℃～35℃の部屋でお使いください。 35℃以上で使うと機械に無理がかかり故障の原因になります。
除 湿 温 風 1	●除湿した空気をさらに半導体ヒーターで加熱した除湿温風空気で乾燥させます。部屋の隅や、水をこぼした所などの乾燥に適しています。 なお吐き出し空気温度が約60～80℃と高いので吐き出し空気に直接触れるところの耐熱温度にご注意ください。	
温 風	●半導体ヒーターによる温風で乾燥させます。水をこぼした所などの乾燥に適しています。 なお吐き出し空気温度は約60～70℃です。吐き出し空気に直接触れるところの耐熱温度にご注意ください。	

くつ乾燥のしかた

- 布ぐつは、くつを壁等にたてかけ乾燥空気を乾燥ノズルで吹きつけることにより乾燥できます。
- 長ぐつは
別売の長ぐつ乾燥台「KE-2」(17ページの「別売品について」の項を参照してください。)をご使用になると便利です。なお長ぐつ乾燥台は「ふとん乾燥」や「押し入れ乾燥」と同じように、本体に乾燥ホースを差し込み、その先端を長ぐつ乾燥台に接続することにより、使用できます。
- 運転切換スイッチの選び方は、次のページをごらんください。



運転切換スイッチ	特 徴	運転可能な室温
除 湿 温 風 1 除 湿 温 風 2	●「ふとん乾燥のしかた」の項と同じですが、長ぐつや布ぐつに適しています。吐き出し空気温度が高いので、革ぐつには使用しないでください。	1℃～30℃の部屋でお使いください。 30℃以上で使うと機械に無理がかかり、故障の原因になります。
除 湿 ・ 強	●「ふとん乾燥のしかた」の項と同じです。吐き出し空気温度は、約35～45℃になります。革ぐつには使用しないでください。	
温 風	●「ふとん乾燥のしかた」の項と同じです。吐き出し空気温度が高いので、革ぐつには使用しないでください。	1℃～35℃の部屋でお使いください。 35℃以上で使うと機械に無理がかかり故障の原因になります。
送 風	●革ぐつの乾燥に適しています。	1℃～40℃の部屋でお使いください。

移動させるときは

- キャスターで押すときは、キャスター側の“とって”に手を掛け、除湿機本体を傾けてください。



- 持ち運ぶときは“とって”に手を掛けてください。
なお、2階に持ち上げる際などは水受容器の上の“中とって”をご利用になると便利です。

- キャスターを使うときは水受容器側にいったん本体を傾けて、冷却器の水滴を水受容器に流入させた後、空にしてから移動させてください。
水があふれて電気品や床をぬらす恐れがあります。
- 水受容器をはずしたまま移動しないでください。
冷却器に残っている水滴がこぼれることがあります。
- “中とって”をご利用の際は、水受容器の“とって”を“中とって”と間違わないようご注意ください。
間違いますと、除湿機を取り落すことがあり危険です。

上手な節電法

電気代を節約するため、次のような点に注意し、上手にお使いください。

- 直射日光や熱を出す器具から離し、空気吐き出し口と空気吸い込み口のすき間をじゅうぶんとってください。
- タイマーを適切な位置にセットしてください。
特に乾燥に使用するときには4ページの「運転切換スイッチとタイマーの働き」の項を参照して、適切な時間にセットしてください。
- 部屋や押し入れの除湿、スポット除湿の際は窓、扉の開閉はできるだけ少なくし、あけたらすぐ閉めてください。
- 2週間に一度程度は点検し、エアフィルターの掃除をしてください。
- 部屋の除湿の際には、湿気の状態をよくみて、早めにスイッチの“入”“切”を行ってください。
除湿機にセットし、お望みの湿度(約50%以上)に目盛を合わせておくと、ほぼ一定の湿度に自動コントロールする別売りの湿度調節器もあります。(17ページの「別売品について」の項を参照してください。)

お手入れについて

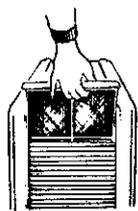
お手入れの際は必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

1 エアフィルターの清掃

エアフィルターは室内のごみ、ほこりを除くものですから、ふだんは2週間に一度程度点検し次の要領で掃除をしてください。

エアフィルターが汚れたままですと、風量が減少し、除湿量が減ります。

- 1)エアフィルターのつまみを持ち、静かに上方へ引き抜いてください。



- 2)エアフィルターの汚れは水で洗い流すか、電気掃除機で落します。水洗いの場合には水を切り、日陰でよくかわかしてください。
- 3)エアフィルターがきれいになりましたら、静かに押し下げ入れてください。尚つまみは必ず外側にしてください。

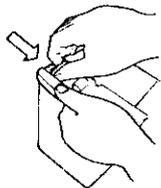
●エアフィルターをかわかすときは長時間直射日光にあてたり、40℃以上の温水で洗わないでください。縮むことがあります。また絶対に火であぶらないでください。燃えることがあり、危険です。

●エアフィルターを入れずに運転しますと、除湿機内にはこりやごみを吸い込みますから必ず入れてください。

2 水受容器の清掃

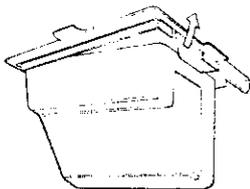
●ふたをはずし、水受容器本体を水洗いしてください。

ふたのあけ方



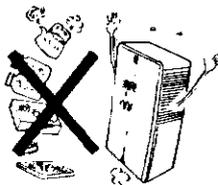
●ふたは水洗いしないでください。ふたにはフロートが付いており、フロートに水が入ると、自動停止しないことがあります。誤って水洗いした場合は、フロートははずして、水を抜いてください。

フロートのはずし方



3 キャビネットの清掃

- ときどき、はたきをかけるか、かわいた柔らかい布で軽くふいてください。
- とくに汚れがひどい場合は柔らかい布にぬるま湯か中性洗剤をふくませてふいてください。中性洗剤をお使いのときは必ず清水でふきとってください。
- シンナー・ベンジン・アルコール・石油・粉石けん・みがき粉・熱湯・酸・たわし・化学ぞうきんなどは塗装面やプラスチックをいためますので使わないでください。



●除湿機に水がかかると絶縁が悪くなったり、さびたりします。

- (1)直接水をかけて掃除をしないでください。
- (2)電気部品(スイッチなど)の周囲をふくときは布をかたく絞ってください。

4 乾燥マットの洗たく

●乾燥マットの内側に「ほこり」がつくと風量が減少し機械に無理がかかり故障の原因になります。またふとんの乾きが悪くなります。したがって、ときどき、ボタンをはずし、ファスナーを開き、中のほこりをおとしてください。汚れがひどい場合は次の要領で洗たくをしてください。

- (1)中性洗剤をいれたぬるま湯でかるく押し洗いをしてください。
- (2)次にソフト仕上げ剤(ライオンソフトナー、ハミングなど)の入った水ですすぎ洗いをしてください。ソフト仕上げ剤を入れずに、すすぎ洗いをしますと、使用中ほこりがつき、汚れやすくなります。

(3)干す時は直射日光に当てると、変色することがあります。必ず陰干しをしてください。

●乾燥マットは、洗たく機で洗わないでください。
●洗たく後のアイロンかけは、ふとん乾燥の性能が低下しますのでやめてください。

定期的に点検しましょう

安心してご使用いただくために、半年～1年に一度定期的に次のような点検を行ってください。そのときもしご不審な点がありましたら、すぐにお買い求めになった販売店にご連絡ください。

- 電源プラグが専用のコンセントにしっかり入っていますか？
- 電源プラグに異常な発熱などはありませんか？

- 電源コードにき裂やすり傷がありませんか？
- 排水ホースによる連続排水をしている場合ホースは確実に水受容器の接続口に接続されていますか？またつぶれていませんか？

長期間お使いにならないときは

1. タイマーを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜き、電源コードをまとめてコードボックスに入れてください。
2. 水受容器に残っている水を完全にすててください。
3. エアフィルターを掃除してください。
4. 切換えカバーを上面にセットしてください。
5. 乾燥ホース、乾燥マット、乾燥ノズルを収納ケースに入れてください。

6. 乾燥した、直射日光のあたらない、風通しの良いところに保管してください。ほこりよけの簡単なカバーをかぶせておくと安心です。



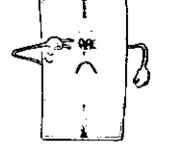
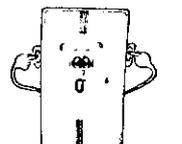
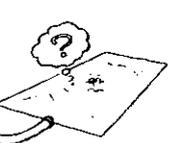
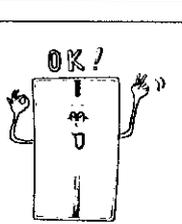
別売品について

次の別売品を用意しておりますので、日立の家電品販売店でお求めください。

- 室内の湿度をほぼ一定に自動コントロールできる湿度調節器(形式H46L-2)
- 連続排水用の排水ホース(サービス専用部品、長さ3m、カードNo.RD-2004026)
- 効果的に衣類乾燥できる衣類乾燥用ケース(日立ふとん乾燥機用別売品、形式HEF-7)
- くつ乾燥に便利な長ぐつ乾燥台(日立ふとん乾燥機用別売品形式KE-2)

サービスを依頼されるときは

- もし、除湿機の調子がよくないときは、次のことをお調べのうえ、それでも不具合な場合は、ご自分で修理なさらないで、お買い求めの販売店にご相談ください。

	タイマーをセットしても運転しないとき	(1) 停電ではありませんか？ (2) 電源プラグがコンセントにしっかり入っていますか？ (3) お部屋のブレーカーやヒューズが切れていませんか？ (4) 滴水ランプがついていませんか？正しく取り扱ってください。 ●水受容器が入っていますか？ ●水受容器の水がいっぱいになっていませんか？
	除湿量が少ないとき	(1) エアフィルターがゴミなどで詰っていませんか？ (2) 室温が低く、湿度が下がっていませんか？ 除湿量は室温と湿度によって変り、室温が低く、また湿度が低くなる程除湿量は少なくなります。 例 室温 27℃ 湿度 60%……除湿量 5.0/5.6ℓ/日 5℃ 60%…… 1.01/1.11ℓ/日 /で示される数値は左が50Hz、右が60Hzの数値です。
	音がうるさいとき	(1) 床がしっかりしていなかったり、除湿機ががたついたりしていませんか？ (2) “周波数切換スイッチ”の位置は正しいですか？
	乾燥マットがふくらまないとき	(1) 切換えカバーが上面の除湿空気吐き出し口にしっかり取り付けられていますか？ (2) 乾燥マットのファスナーが閉じられていますか？ (3) 乾燥ホースが乾燥空気吐き出し口にしっかり差し込まれていますか？
	これは故障ではありません	(1) 除湿機を運転すると部屋の中がしばらくの間カビくさくさすることがあります。これは壁などから取り出された水分の臭いが原因で除湿機の臭いではありません。 (2) 冷却器の霜を自動的にとるため時計式の霜取り装置を使用しています。お部屋の温度が約18℃以下になるとこの霜取り装置が作動し約2時間に1回、周期的にモーターが停止するとともに除湿水が水受容器に滴下するようになります。これは冷却器につく霜を溶かし、水受容器に滴下させるためです。モーターの停止時間は1分～20分間です。なお、この時計式霜取り装置のため2時間に1回カチッという音が聞えることがあります。 (3) 除湿機を移動させるときカタカタという音がしますが、これは圧縮機内の防振用のパネのため故障ではありません。 (4) 除湿機の運転中や運転を停止したとき、水の流れるような音のすることがありますが、これは冷凍機の中の液が流れる音ですから、故障ではありません。 (5) ふとん乾燥や、くつ乾燥の除湿温風運転時に、吐出空気温度が高くなる場合があります。これは半導体ヒーターのサーモスタットが作動したためです。この場合は乾燥マットや、くつ乾燥の吐き出し口の通気をよくしてください。

- アフターサービスをお申し付けいただくときには、次のことをお知らせください。
 1. 形名 : RD-561LK
 2. 故障状態……できるだけ詳しく
 3. 道順……付近の目印も

- ご転居の際、電源の周波数が変わる場合は、“周波数切換スイッチ”の切換えを忘れてください。(8ページの「初めてお使いになるときは」の項を参照してください。)

- アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合は、お買い上げの販売店が別紙のご相談窓口一覧表(黄色用紙)のご相談窓口にお問い合わせください。

- 補修用性能部品の保有期間について
 当社は、この除湿機の補修用性能部品を、製造打切後最低8年間保有しています。

- 転居されるときは
 ご転居により、お買い求めの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もってお買い求めの販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

仕様

形名	RD-561LK	付属品	
種類	B形	水受容器………1	
定格除湿能力	5.0/5.6 ℓ/日	エアフィルター………1	
定格電圧	100V	切換えカバー………1	
定格周波数	50Hz・60Hz共用	乾燥ホース………1	
定格消費電力	除 湿	210/245W	乾燥マット………1
	除 湿 温 風	560/600W	乾燥ノズル………1
	温 風	415/435W	収納ケース………1
送 風	35/44W		
外形寸法	幅265mm×奥行415mm×高さ650mm		
製品重量	19.0kg		

- 定格除湿能力、定格消費電力は室温27℃、相対湿度60%を持续する室内で運転した場合の数値です。
- /で示される数値は左が50Hz、右が60Hzの数値です。
- 製品は改良のため仕様の一部が変わることがあります。
- B形は1℃以上のところで使用できる除湿機です。

保証について

- この商品は保証書付きです。
 保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますから、記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。
 保証期間は、お買い上げの日から1年間です。(ただし冷凍サイクル部分は3年間です。)
 なお、保証期間中でも有料になることがあります

ので、保証書をよくお読みください。
 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。
 修理によって機能が維持できる場合は、お客様の要望により有料修理いたします。
 当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。